

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腰痛・坐骨神経痛に対する八味地黄丸の効果予測因子としての三陰交における触診所見の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2021 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに昭和医科大学病院 東洋医学科外来を受診し、腰痛や下肢の痺れ・痛み・冷え等の症状に対して八味地黄丸が処方され、経過観察が可能であった患者さんが対象です。

2. 研究目的・方法

本研究は、腰痛や下肢の痺れ・痛み（坐骨神経痛）等を呈する患者さんに対して八味地黄丸が処方された際、処方開始時の三陰交（足関節内側にある経穴）における触診所見（陥凹、圧痛）が、症状の改善と関連するかを検討し、治療選択に役立つ指標を探索することを目的としています。

本研究は、昭和医科大学病院 東洋医学科外来で行われた通常診療の記録（診療録）を用いる後ろ向き観察研究です。研究目的で新たな検査や治療を追加することはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から、年齢・性別等の背景情報、診断名、症状の評価（例：数値的評価スケール[NRS]）、八味地黄丸の処方内容、身体所見（例：三陰交の陥凹・圧痛、腰眼付近や臀中付近の圧痛）等を取得し解析します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当致しません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学大学院医学研究科	生体制御学分野	奥茂 敬恭	講師
研究分担者	昭和医科大学大学院医学研究科	生体制御学分野	砂川 正隆	教授

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学大学院医学研究科 生体制御学分野 氏名：奥茂 敬恭

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8110（内線 8110）